



だから、おいしい。

長野のお米

作り手の情熱とこだわりが「おいしさ」の鍵

長野県産のお米は、毎年収穫後に行われる農産物検査で、見た目や粒の大きさ、揃い、着色など厳しい品質基準をクリアし、常に1等米比率全国トップクラスの良質なお米を作っています。

高い山々に囲まれた長野県は、雪解けの豊富な水に恵まれ、毎年美味しいお米が作られています。「稲に水が欲しいときに、すべての田んぼに潤沢に水をいき渡らせることができるのは本当にありがたいですね」と語るのは、40町歩(約12万坪)もの田んぼの収穫を迎えた高山さん。

長野県は寒暖の差が大きく降水量も少ないことから、病気や害虫の発生が全国的に見ても少なく、農薬の使用回数も他県に比べて少ないそう。「カエルやイナゴ、トンボなど小さな生き物がいっぱいいるんですよ。生き物がいる田んぼの米は人にも優しい。共存しながら、より安全で美味しいお米を作っていきたいと思います」と、稲穂の実りを確認しながら微笑む高山さん。

今年も一年、頑張ってきたことすべてが実を結びました。

ここがポイント！



収穫したお米は、検査員により厳しい品質チェックが行われます。長野米は、基準をクリアした1等米の比率が安定して高いことから、業務用に好まれています。

だからおいしい！ 長野のお米の栽培工程

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
種もみ選別		田おこし・苗作り	代かき	田植		中干し	収穫
		(生育過程)	苗	生育初期	苗が大きく生長する	穂のものが出る	穂が充実する
水管理				浅水	間断かん水	やや深水	間断かん水 走り水 落水

※栽培方法・環境・生産者により異なります。

JA全農長野ホームページ 長野米
https://www.nn.zennoh.or.jp/products/rice/



スペシャルムービー



長野米のおいしさのひみつはこちら



JA松本ハイランド管内
お米生産者 高山 典士さん

収穫前に行う「間断灌水」は、収穫しやすくすることはもちろん、段階的に水を少なくしていくことで、収穫に向けて稲を慣らす、という重要な工程です。田んぼによって土の粘度や水はけが違うので、自分の目で確認しながら、稲にストレスを与えないよう気を配っています。



だから、おいしい。
長野のお米



黄金色に輝くお米は
私たち農家の心。



作り手の情熱とこだわりが
「おいしさ」の鍵！

信州 長野県の美味しい農産物は「三ツ山マーク」をつけて出荷しています。JA全農長野は、信頼される産地を目指し、安全安心な農産物の供給に努めています。





だから、おいしい。 長野のお米



長野米は、厳しい品質基準をクリアし、品質を示す1等米比率は、常に全国トップクラスを誇ります。では、長野米はどのように栽培されているのでしょうか。

10a当たりの収量
全国トップクラス！
(単収は全国平均よりも約15%高い)
1等米比率トップクラス！
(全国平均よりも約15%高い)



1 種もみ選別・種まき

ずっしりと実がつまって元気な種もみを4~5日水に浸します。積算温度が100℃になるよう管理すると芽がでます。これを催芽といい、芽が1mmほど出たら、育苗マットに種まきをします。

機械でシートに播いていくんだね。



2 育苗

播種が終わった苗箱を28℃で4日間加温し、その後育苗ハウスに移して約20日間、苗を育てます。その後の生育に影響するため苗の段階で生長が揃っていることが重要です。



5 田植え

種まきから35日目ほど、12~15cmほどに成長した苗を田んぼに植えていきます。昔は苗の一つひとつ手で植える重労働でしたが、現在では田植え機を使って植えていきます。



6 生育中の管理

田植え後は収穫まで、生育に合わせた水の調整や雑草の処理、病気や害虫の防除作業などを行っています。稲が伸び終わると、茎の中から稲穂が出て、花が咲きます。



お米の花



9 検査

出荷前には、検査員により厳しい品質チェックが行われます。長野米は、基準をクリアした1等米の比率が安定して高く、外食・中食に好まれています。



1等米

3等米



3 田おこし

土を耕運機で起こして乾かすと、土に空気が含まれて根の生長を促したり、雑草が生えにくくなります。田おこしは、田植え前の大事な作業です。



4 しろかき

しろかきは、田んぼに水を張って田んぼの土を平らにする作業です。田んぼの水持ちを良くし、凹凸を整えることで稲が均一に生長するようにします。

いよいよ田んぼに水を張るよ。



7 稲刈り

収穫の目安は田植えからの積算温度によりますが、田んぼごとの実際に稲の実りをしっかりと確認して、収穫するタイミングを決めています。



籾の状態



8 乾燥・調製

収穫したお米(籾)はコントリーエレベーター(共同乾燥調製貯蔵施設)に集められ、乾燥機でよく乾燥させた後、温度や湿度がしっかりと管理されたサイロで貯蔵して、品質を保ちます。

もう少しでみんなのもとへお米が届くよ。



水の管理～かんたんかんすい間断灌水

田植えから収穫まで、米の生育には水管理が最も重要となります。中でも収穫前に行う「間断灌水」は、収穫しやすくすることはもちろん、段階的に水を少なくしていくことで、収穫に向けて稲を慣らす、という重要な工程です。田んぼによって土の粘度や水はけが違うので、生産者は、目で確認しながら、稲にストレスを与えないよう気を配っています。

すいでん

水田の重要な役割

水田は、米を作るだけでなく、環境を守り育てるものとして、多くの重要な役割を担っています。

- 洪水を防ぐ
- 地下水を作る
- 多様な生き物を育む
- 安らぎをもたらす
- 土砂崩れを防ぐ
- 土を守る
- 暑さをやわらげる
- 伝統文化を守る
- 都市と農村の交流の場となるなどの効果があります。



長野米はとっても美味しいよ。



参考：企画・制作 公益社団法人 米穀安定供給確保支援機構 「お米・ごはん BOOK」

※栽培方法や環境・日数は、生産者や地域により異なります。